T-Cross
クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください

T-Cross に関する資料

本 書

クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。
ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。
モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

本書内に記載されている一部の機能は、動画で機能の説明を確認することができます。
YouTubeのVolkswagenGroupJapan公式チャンネルにアクセスしてご覧ください。
動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。

取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。
本書と合わせて必ずお読みください。

T-Cross

クイックユーザーガイド

目　次
運転の前に
運　転
便利な機能

クイックユーザーガイド 目次

1. 運転の前に 4

運転準備 4
- リモコンキー 4
- スマートエントリー＆スタートシステム“Keyless Access” 5
- ステアリングホイールの調整 6
- ミラーの調整 7

室内装備 9
- パワーウインドー 9
- エアバッグ 10
- ルームランプ、リーディングランプ 11
- スマートフォンワイヤレスチャージング 12

2. 運転 14

運転する 14
- コンビネーションメーター 14
- 警告灯および表示灯 16
- ディスプレイ表示 / 情報プロファイル 19
- エンジンの始動・停止 21
- シフト操作 23
- Start/Stop システム 25
- ライト 26
- 方向指示器 27
- ウインドーワイパー、ウォッシャー 28

燃料の給油 29

3. 便利な機能 32

運転支援 32
- インフォテイメントシステム 32
- アダプティブクルーズコントロールシステム“ACC” 36
- レーンキープアシストシステム“Lane Assist” 39
- ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能） 41
- リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能） 42
- ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System” 44
- プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”（歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付） 46
- ESC（エレクトロニック・スタビリティ・コントロール） 48
- プロアクティブ・オキュパント・プロテクション 49
- タイヤモニタリングシステム 50
- パークディスタンスコントロール 51
- リヤビューカメラ“Rear Assist” 53
- 駐車支援システム“Park Assist” 54

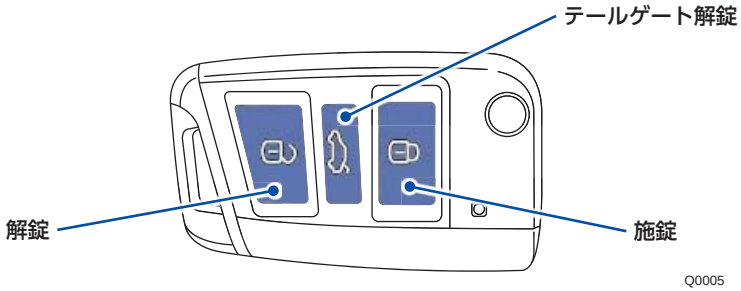
目次

運転の前に

運転準備

リモコンキー

リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。

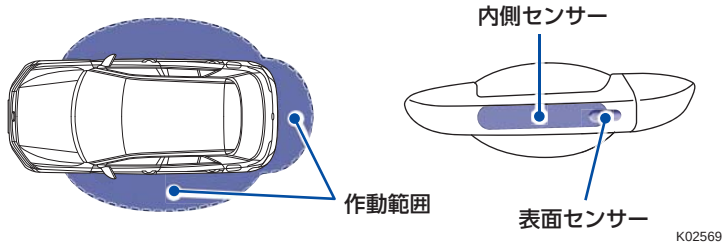


- 施錠ボタン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
- 解錠ボタン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ すべてのドアおよびテールゲートを解錠します。
- テールゲート解錠ボタン‥ テールゲートのみ解錠します。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

スマートエントリー&スタートシステム“Keyless Access”

キーが作動範囲にあるとき、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー部分に触れると、ドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



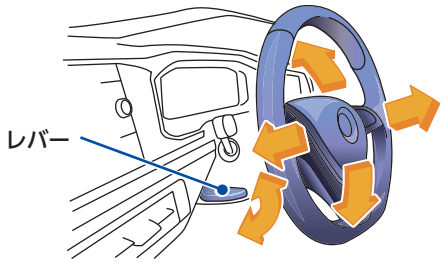
- 表面センサー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 触れると、全てのドアおよびテールゲートが施錠します。
- 内側センサー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 触れると、全てのドアおよびテールゲートが解錠します。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

キーを車内に残した状態でドアハンドル表面のセンサーに触れると、ドアを施錠できません。

ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さ、前後位置を調整することができます。



K02157

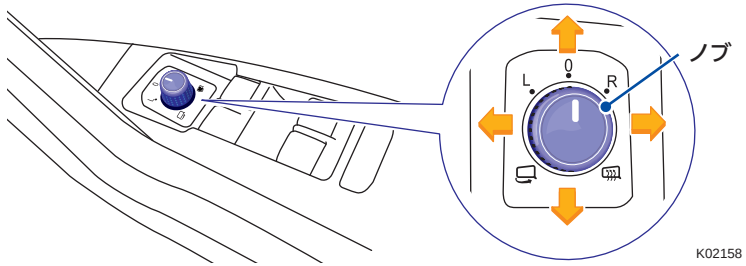
操作手順

1. レバーを下げます。
2. ステアリングホイールを前後または上下に動かして、位置を調整します。
3. 調整した位置を保持し、レバーを上げて固定します。

ミラーの調整

ドアミラーの調整

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブで調整できます。



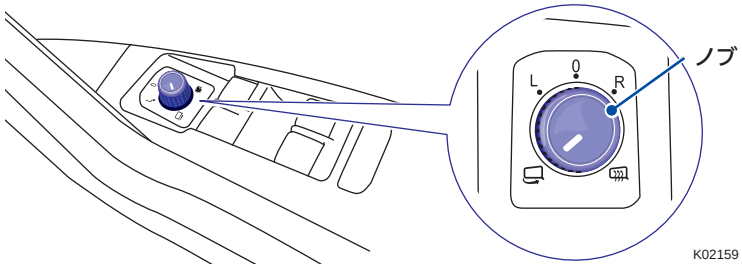
K02158

操作手順

1. ノブを回して、“R”（運転席側）または“L”（助手席側）に合わせます。
2. ノブを上下、左右に動かして、ドアミラーを調整します。
3. ドアミラーの角度を調整した後、ノブを回して、“0”に合わせます。

ドアミラーの格納

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを に合わせると、自動的に格納されます。他の位置にすると復帰します。

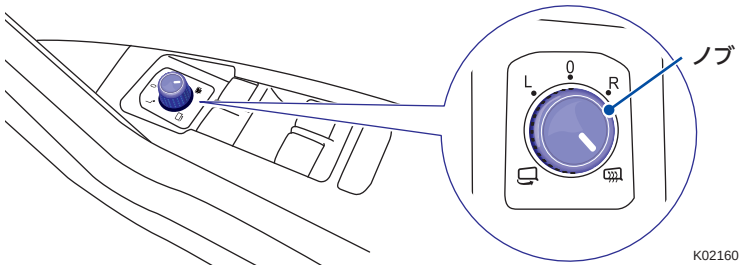


K02159

車両をリモコンキー、またはスマートエントリー＆スタートシステム“Keyless Access”で施錠することでも自動的に格納されます（イグニッションスイッチを“ON”にすると復帰）。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

ドアミラーヒーター

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを に合わせると、外気温度が 20℃を下回る場合にドアミラーヒーターが作動します。

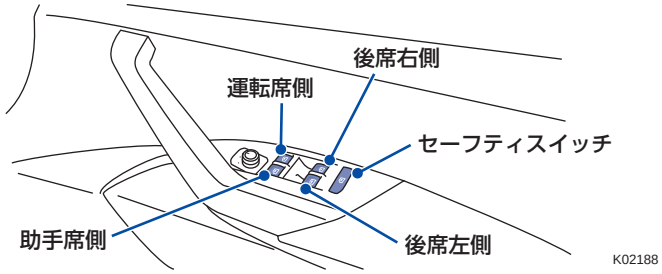


K02160

室内装備

パワーウインドー

各ドアにあるパワーウインドースイッチで、ウインドーの開閉を操作します。



K02188

セーフティスイッチを押すと、後席ドアのパワーウインドーは作動しなくなります。

アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウインドーの開閉を行うことができます。（コンフォートオープン）
リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。
全てのウインドーが閉まると、方向指示器が 1 回点滅します。

エアバッグ

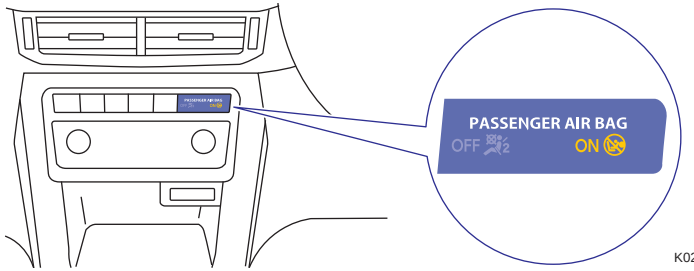
運転席側フロント、助手席側フロント、前席サイド、カーテンエアバッグが装備されています。

助手席側エアバッグの機能停止

後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、機能を停止させてください。
助手席側ドアを開け、側面の助手席エアバッグカットオフスイッチを、キーを使って OFF にすると、助手席側フロントエアバッグの作動を停止することができます。

K02190

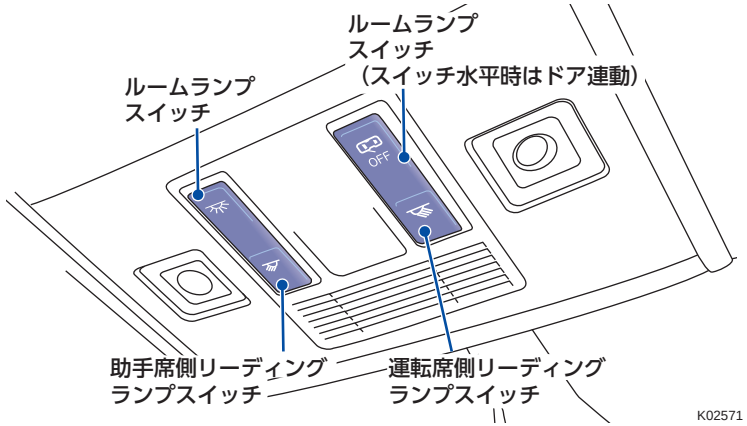
助手席側フロントエアバッグの作動を停止すると、センターコンソール上部の警告灯が点灯します。



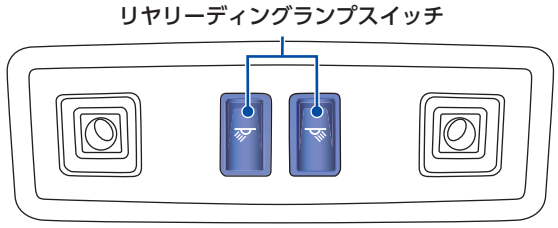
K02570

ルームランプ、リーディングランプ

ルームミラーの近くにフロントルームランプ、後席天井にリヤルームランプがあります。
ルームランプは、独立したリーディングランプとしても点灯することができます。



K02571



K02193

スマートフォンワイヤレスチャージング

K02572

ワイヤレス充電規格「Qi（チー）」に対応するスマートフォンをエアコン操作パネルの下にある充電スペースに置くことで、ケーブル無しで充電することができます。
最大充電出力は 5W です。

スマートフォンワイヤレスチャージング用の設置面に置くことができるのは、Qi 規格に対応した最長部分 140mm までの携帯端末機器のみで、保護カバーを外して置いてください。

Qi 規格対応のスマートフォンを充電する時は、画面を上に向け、設置面の中央に置きます。充電が自動的に開始されます。取扱説明書または携帯端末機器のメーカー情報から、その携帯端末機器が Qi 規格対応かを確認してください。

インフォテイメントシステムには、充電が開始されたか、または携帯端末機器以外で硬貨やキー等の金属成分を含む異物が設置面で検知されたかの情報が表示されます。
Qi 規格対応の携帯端末機器以外の異物はすぐに取り除いてください。
携帯端末機器の設置方法が正しくない、または機器が規定サイズより大きい場合は充電されない場合があります。

⚠警告

金属製のもの、または金属成分を含むものを、ワイヤレス充電用の設置面に置かないでください。金属製のものは非常に高温になる可能性があります。それにより火傷や火災の原因となることがあります。

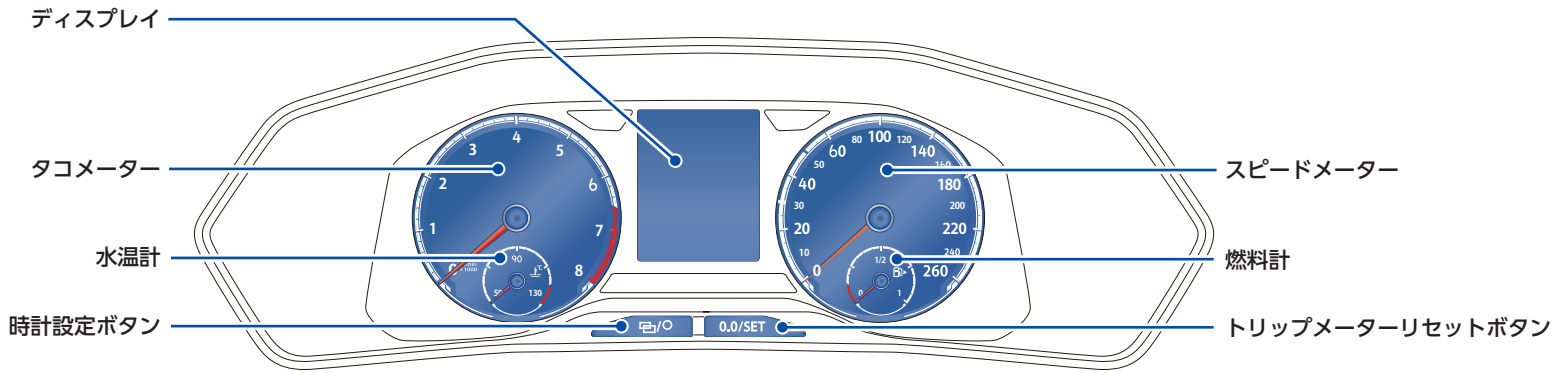
アドバイス

- クレジットカードや証明用カード等、磁気テープやチップが付いているものをワイヤレス充電用の設置面に置かないでください。磁気テープやチップに保存されているデータが損傷、消失、使用不能となることがあります。
- ご使用の携帯端末機器によって充電の所要時間や温度は異なります。
- 故障を防止するため、携帯端末機器の正しい面を設置面の正しい位置に置くようご注意ください。

目次へ

運転する

コンビネーションメーター



K02573

時計の設定方法

操作手順

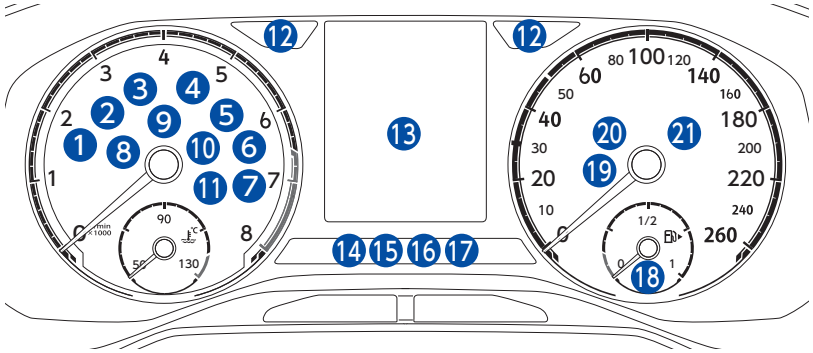
1. 時計設定ボタンを押します。
2. 時表示がハイライトされますので、時を変更する場合はトリップメーターリセットボタンを押して正しい時を設定してください。
3. もう一度時計設定ボタンを押すと、分表示がハイライトされますので、分を変更する場合はトリップメーターリセットボタンを押して正しい分を設定してください。
4. もう一度時計設定ボタンを押すと、時計設定が完了します。

時計はインフォテイメントシステムでも設定することができます。

走行距離表示

トリップメーターは、前回リセット以降の走行距離を表示します。トリップメーターリセットボタンを短く押すと、トリップメーターがリセットされます。

警告灯および表示灯



K02574

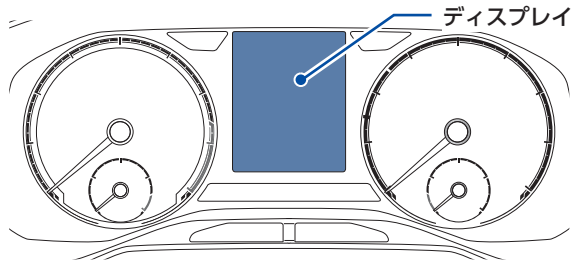
位置	シンボル	意味
1		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
2		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
2		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
3	EPC	エンジン制御システム故障
4		エキゾーストシステムの故障
5		点灯：システムによる ESC OFF 点滅：ESC 作動中
6	ABS	ABS 故障
7		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
8		ハイビーム点灯
9		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
10		前席シートベルト非着用
11	OFF	ASR OFF
12		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
13		プリクラッシュブレーキシステム接近警告
13		ライトのバルブ切れ

位置	シンボル	意味
13		エンジン回転数制限
13		ウインドーウォッシャー液量少
13		レイン / ライトセンサー故障
13		ワイパー故障
13		エンジンオイルシステム故障、エンジンオイル量の過不足
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動停止
13	OFF	プリクラッシュブレーキシステム OFF
13		トランスミッション故障　オーバーヒート
13		ドア / テールゲート / ボンネットが開いています
13		後席シートベルト非着用
13		後席シートベルト着用
13		冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
13		エンジンオイル油圧低下
13		充電系統故障
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）先行車未検知
13		白色表示：アダプティブクルーズコントロール（ACC）先行車検知 灰色表示：アダプティブクルーズコントロール（ACC）非作動
13	LIM	スピードリミッター作動
13		サービスリマインダー、点検時期
13		外気温度 4° C 以下
13	A	Start/Stop システム　エンジン自動停止機能が ON
13		Start/Stop システム　システムが作動不可、システムによってエンジンが自動再始動
13	eco	低燃費走行状態
13		取扱説明書を確認してください

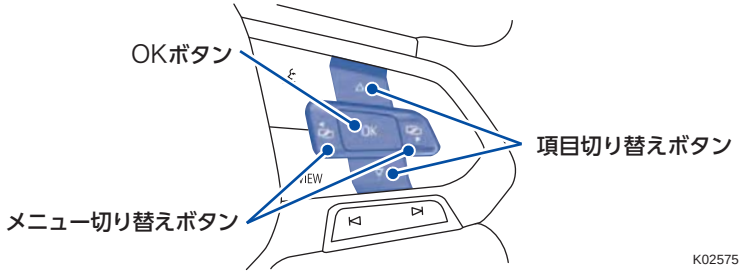
位置	シンボル	意味
14		ハンドブレーキ作動中
15		ディスプレイの表示を確認してください
15		ディスプレイの表示を確認してください
16		点灯：スピードリミッター ON、 アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動中 点滅：スピードリミッター設定速度超過
17		レーンキープアシストシステム待機
17		レーンキープアシストシステム作動中
18		燃料残量少
19		ブレーキパッド摩耗
20		リヤフォグランプ点灯
21		ブレーキペダルを踏んでください
21		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください

ディスプレイ表示 / 情報プロファイル

コンビネーションメーターのディスプレイで様々なドライビングデータを確認することができます。



ディスプレイの表示は、マルチファンクションステアリングホイール右側のボタンで操作します。



メニューと表示項目

メニュー	項　目
走行データ	**燃費 / 消費量** 現在の燃料消費率を表示します。
	φ燃費 ※ 平均燃費を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 300m 走行後に表示されます。
	走行可能距離 残りの燃料で走行可能な距離を表示します。
	走行時間 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの経過時間を表示します。
	走行距離 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの走行距離を表示します。
	φ速度 ※ 平均車速を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
	車速 現在の車速を表示します。
	警告速度 警告速度の設定をすることができます。
	油温 エンジンオイル温度を表示します。
アシストシステム	レーンキープアシストシステム（Lane Assist）の ON/OFF を切り替えることができます。
	ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）の ON/OFF を切り替えることができます。
	リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）の ON/OFF を切り替えることができます。
	プリクラッシュブレーキシステム（Front Assist）の ON/OFF を切り替えることができます。
	ACC の作動状態を表示します。
ナビゲーション	オーディオ / ナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。
オーディオ	
電話	
車両ステータス	警告 / 情報テキストを表示します。

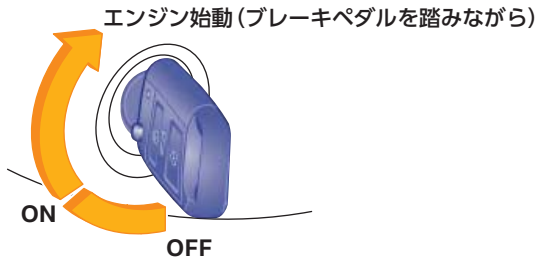
※：以下の 3 種類のメモリーがあり、OK ボタンで表示を切り替えることができます。

- スタート後
  イグニッションスイッチを ON にしてからのデータを表示します。イグニッションスイッチ OFF 後、約 2 時間経過するとリセットされます。
- 給油後
  前回給油以降のデータを表示します。給油するとリセットされます。
- 累計走行データ
  長期間のデータを表示します。積算での走行時間が 20 時間、もしくは 100 時間、または走行距離が 2,000km、もしくは 10,000km に達する毎にリセットされます。（仕様によって異なります）

エンジンの始動・停止

イグニッションスイッチ

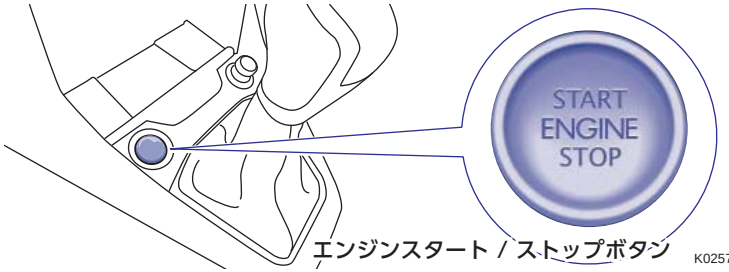
ステアリングコラム右側のイグニッションスイッチでエンジンを始動・停止します。



Q0022

エンジンスタート / ストップボタン

センターコンソールのエンジンスタート / ストップボタンで、エンジンを始動・停止します。



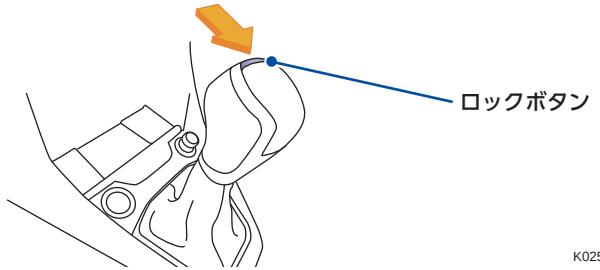
エンジンスタート / ストップボタン K02576

目 的	操 作
エンジン始動	ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンスタート / ストップボタンを押します。
エンジン停止	エンジンスタート / ストップボタンを押します。
イグニッションスイッチ ON/OFF の切り替え	ブレーキペダルを踏まずに、エンジンスタート / ストップボタンを押します。

シフト操作

セレクターレバーの操作

セレクターレバーを“P”の位置からシフトする場合は、ブレーキペダルを踏み、ロックボタンを押しながらシフトします。



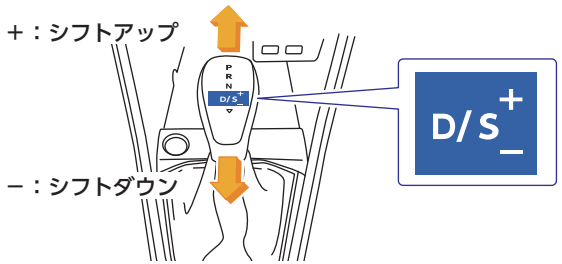
K02577

“D”と“S”を切り替えるには、セレクターレバーを後方に引きます。セレクターレバーは自動的に元の位置に戻ります。

セレクターレバーの位置	働き
P	駐車、およびエンジンを始動するとき
R	後退させるとき
N	駆動力は伝達されません
D/S	通常走行（オートマチックモード） D：ノーマルプログラム S：スポーツプログラム
▽	“D”と“S”を切り替えるとき
＋ －	ティプトロニック（マニュアルモード）

ティプトロニック（マニュアルモード）

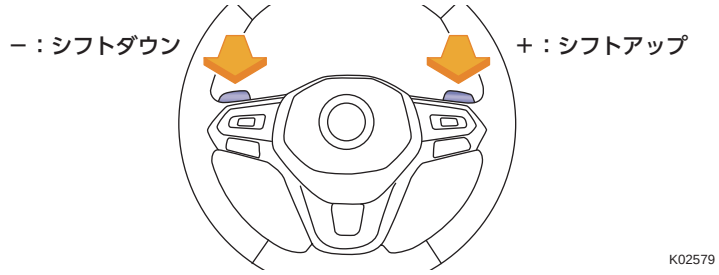
セレクターレバーを“D/S”の位置から右側に倒すとマニュアルモードになり、思いどおりの変速段を選択して運転することができます。“＋”（前方に押す）でシフトアップ、“－”（後方に引く）でシフトダウンします。



オートマチックモードに戻すには、セレクターレバーを左側に戻してください。

パドルシフト

ティプトロニックのギヤシフトをステアリングホイールのパドルレバーで操作することができます。
右側のパドルレバー“＋”を手前に押すとシフトアップ、左側のパドルレバー“－”を手前に押すとシフトダウンします。



セレクターレバーが“D/S”の位置にあるときにパドルレバーを操作することで、マニュアルモードに切り替えることができます。
オートマチックモードに戻すには、右側のパドルレバー“＋”を約1秒間、手前に押してください。

Start/Stop システム

アイドリングストップ技術により、無駄な燃料の消費を抑えるシステムです。
車両を停止させる際にブレーキペダルを踏み続けると、車両停止直前または停止完了時にエンジンが停止します。発進の際、ブレーキペダルから足を離せばスムーズに再始動します。
エンジンの作動状態はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。

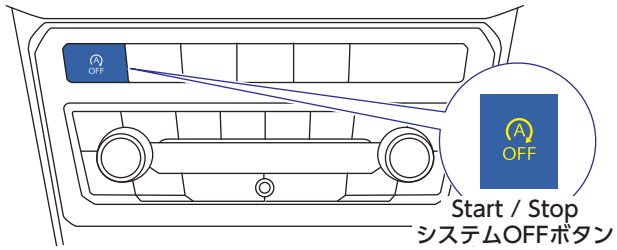
Ⓐ ···· エンジン自動停止機能が ON

Ⓐ ···· システムが作動不可、システムによってエンジンが自動再始動

自動再始動できない場合、セレクターレバーを“P”に戻してから手動でエンジンを始動してください。
自動停止・自動再始動が可能な条件の詳細は取扱説明書の「スタートアシストシステム」を参照してください。

Start/Stop システムの機能停止

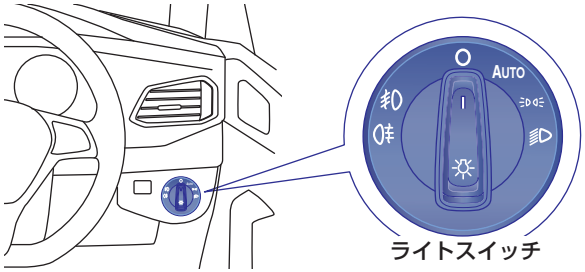
Start/Stop システムの機能を停止する場合は、セレクターレバー横の Start/Stop システム OFF ボタンを押します。
OFF にするとボタンの表示灯が黄色に点灯します。



ライト

ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



K02581

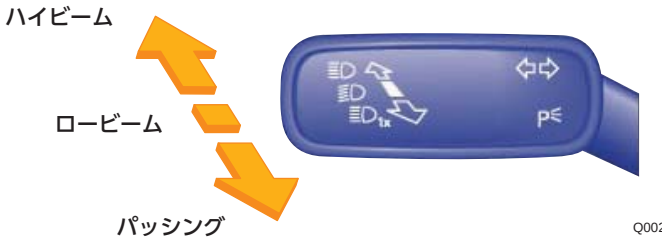
0 ····ヘッドライト消灯 / イグニッションスイッチがONで
デイタイムランニングライト点灯

AUTO ····周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯

····スモールライト点灯

····ヘッドライト点灯（ロービーム）

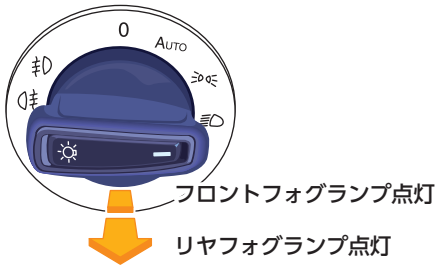
ステアリングホイール左側のレバーを前方に押すとハイビーム、元の位置に戻すとロービームになります。
レバーを手前に引いている間、ハイビームが点灯します。（パッシング）



Q0024

フォグランプ

ライトスイッチがAUTO、スモールライト点灯、またはヘッドライト点灯の位置でライトスイッチを手前に引くと、フォグランプを点灯します。

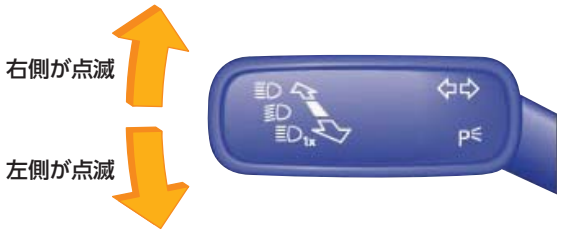


Q0027

手前に 1 段階目　····· フロントフォグランプ点灯
手前に 2 段階目　····· リヤフォグランプ点灯

方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示器を点滅させます。



Q0028

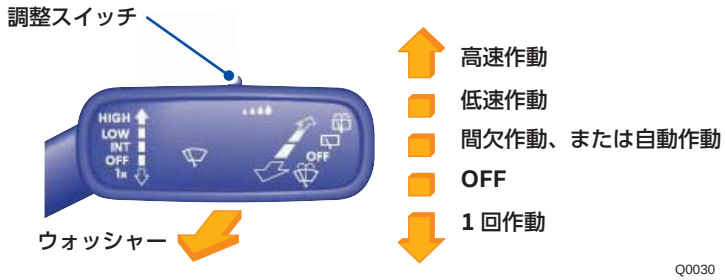
車線変更点滅機能

レバーを軽く操作すると、方向指示器が 3 回点滅します。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

ウインドーワイパー、ウォッシャー

フロントワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、フロントワイパー・ウォッシャーを作動します。



Q0030

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。
調整スイッチで、間欠間隔、またはレインセンサーの感度を調整します。
レインセンサー装備車は、インフォテイメントシステムで自動作動の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

リヤワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、リヤワイパー・ウォッシャーを作動します。

Q0031

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。

後退時のリヤワイパー自動作動

フロントワイパーが ON のときにセレクターレバーを“R”にシフトすると、リヤワイパーが自動的に作動します。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

燃料の給油

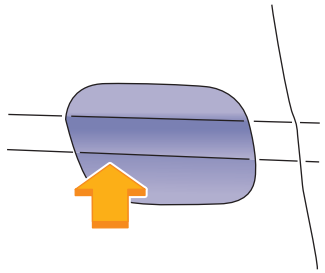
給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。
- イグニッションスイッチが“OFF”
- セレクターレバーが“P”
- パーキングブレーキがかかっている

操作手順

1 キー、またはセンターロッキングスイッチで車両を解錠します。

2 フューエルリッドを開きます。

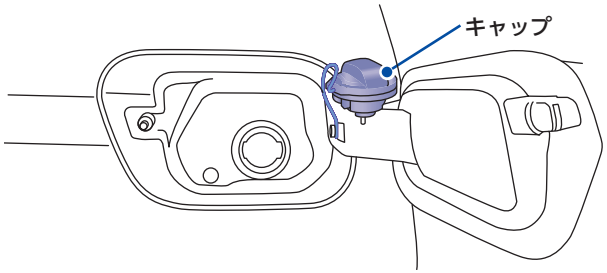
フューエルリッドは車両の右側後方にあります。
フューエルリッドの後部を押すと手前に開きます。



K02582

3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドの開口部に掛けます。



K02583

4 給油します。

使用燃料 ‥‥‥‥ 無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）

5 燃料タンクのキャップを閉めます。

キャップを「カチッ」と音がするまで時計方向に回します。

6 フューエルリッドを閉めます。

運転

運転支援

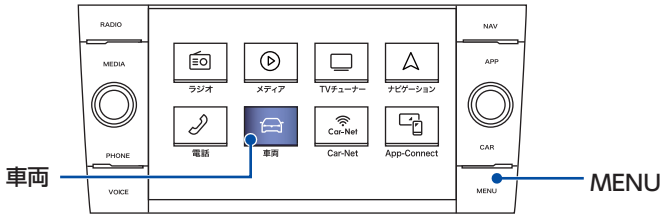
インフォテイメントシステム

車両設定

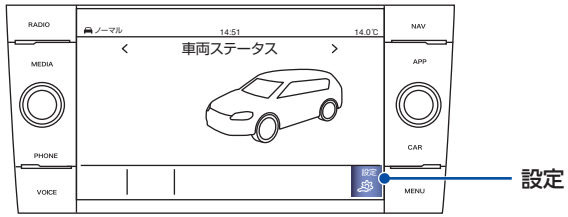
タッチパネルディスプレイを使って、車両の様々な機能の設定をすることができます。

操作手順

1. インフォテイメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 車両設定画面が表示されるので、各項目を選択し設定します。



K02197



K02198

車両設定画面では、以下の各種設定を行うことができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
ESC システム	—	• 以下のシステムの ON・OFF を切り替えることができます。 - トラクションコントロールシステム（ASR）
タイヤ	タイヤ空気圧警告灯	• タイヤモニタリングシステムのリセット操作ができます。
	ウインタータイヤ	• 速度警告の ON・OFF の切り替えおよび速度警告の車速設定をすることができます。
ライト	ライトアシスト	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - オートライトシステム（雨天時） - 車線変更点滅機能 • 以下の機能を設定することができます。 - オートライトシステムの始動時間
	ルームランプ	• 以下の機能を設定することができます。 - メーター / スイッチの明るさ - フロントアンビエントライト - ドア内アンビエントライト - フットウェルライト
	「カミングホーム / リービングホーム」機能	• 以下の機能を設定することができます。 - カミングホーム機能の作動時間 - リービングホーム機能の作動時間

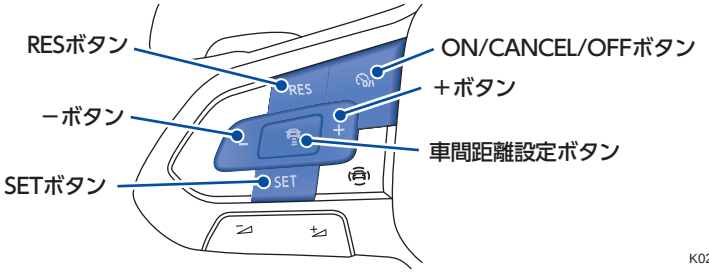
メニュー	サブメニュー	設定方法
ドライバーアシスト	ACC（アダプティブクルーズコントロール）	• 前回選択した設定の適用の ON・OFF を切り替えることができます。 • 以下の機能を設定することができます。 - 走行プログラム - 車間距離レベル
	Front Assist（プリクラッシュブレーキシステム）	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - 事前警告 - 車間距離警告の表示
	Lane Assist（レーンキープアシストシステム）	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - レーンキープアシストシステム“Lane Assist” - ステアリングホイールの振動
	ブラインドスポットディテクション	• ブラインドスポットディテクションの ON・OFF を切り替えることができます。
	疲労検知システム	ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の ON･OFF を切り替えることができます。
	プロアクティブ・オキュパント・プロテクション	プロアクティブオキュパントプロテクションの ON・OFF を切り替えることができます。
駐車支援	パークディスタンスコントロール	• パークディスタンスコントロールの自動作動の ON・OFF を切り替えることができます。 • 以下の機能を設定することができます。 - フロント / リヤの音量 - フロント / リヤのトーンレベル - パークディスタンスコントロール作動時のインフォテイメントシステムの音量
	後退時衝突軽減ブレーキ機能	• 後退時衝突軽減ブレーキ機能の ON・OFF を切り替えることができます。
	リヤトラフィックアラート	• リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）の ON・OFF を切り替えることができます。
ミラーおよびワイパー	ミラー	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - ドアミラーの同時調整 - 後退時のミラー下向き調整 - 駐車時のミラー格納
	ワイパー	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - 自動ワイパー（雨天時） - 後退時のリヤウインドーワイパー作動

メニュー	サブメニュー	設定方法
開閉	ウインドー操作	• ウインドーコンビニエンスオープン（コンフォートオープン）の設定をすることができます。
	集中ドアロック	• ドア解錠の設定をすることができます。
コンビネーションメーター設定	—	• マルチファンクションインジケーターに表示させる項目を選択することができます。
日付と時間	—	• 時刻や日付などの設定をすることができます。
単位	—	• 距離や車速などの単位を設定することができます。
サービス	—	• 以下のデータが表示されます。 - 車体番号 - 次回の点検整備の時期 - 次回のエンジンオイル交換の時期
工場出荷時設定	—	• 以下の設定をリセットすることができます。 - 全ての設定 - ライト - ドライバーアシスト - 駐車支援 - ミラーおよびワイパー - 開閉 - コンビネーションメーター

アダプティブクルーズコントロールシステム“ACC”

レーダーセンサーで先行車との車間距離を測定して一定に維持し、設定した速度を上限に自動で加減速を行います。
システムにより減速して停止状態になった後、先行車が約 3 秒以内に再発進した場合も、車両が自動的に再発進します。

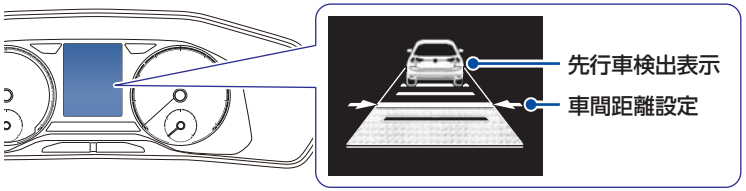
アダプティブクルーズコントロールシステムは、マルチファンクションステアリングホイール左側のボタンで操作します。



K02584

アダプティブクルーズコントロールシステムが作動しているときは、コンビネーションメーターのディスプレイに作動状態が表示されます。

先行車検出表示……先行車を検出しているときに表示します。
車間距離設定……現在の車間距離設定を表示します。



K02585

他の機能（ナビゲーションシステム等）を表示させている場合は、ディスプレイ中央下部に小さく表示されます。

アドバイス

車間距離設定は、矢印の位置が下（手前）にあるほど短く、上（奥）にあるほど長くなります。

操作手順

1. **ON/CANCEL/OFF ボタン を押し、システムを ON（スタンバイ状態※）にします。**
2. **設定したい車速まで加速または減速し、SET ボタンを押します。**
3. **車間距離設定ボタン を押し、車間距離を設定します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。**

システムが作動すると、設定した速度を上限に自動で加減速を行い、先行車を検知すると、設定した車間距離に制御します。

※：システムが ON で、車速の自動制御が行われていない状態です。
設定車速や車間距離設定を変更することができます。

設定車速の変えかた

システム作動中は、以下の方法で設定車速を変更することができます。

- RES ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ上がります。
  + ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ上がります。
- SET ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ下がります。
  −ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ下がります。

車間距離設定の変えかた

車間距離設定ボタン を押します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムの一時停止のしかた

以下の方法で、システムを一時停止することができます。システムを一時停止すると、システムの作動は停止しますが設定車速は保存されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン を押すか、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES ボタンを押します。

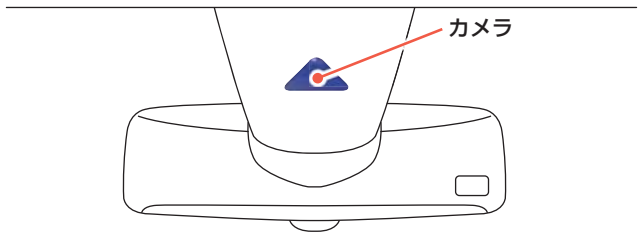
システムの停止のしかた

ON/CANCEL/OFF ボタン を長押しすると、システムが停止し、設定車速が消去されます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

レーンキープアシストシステム“Lane Assist”

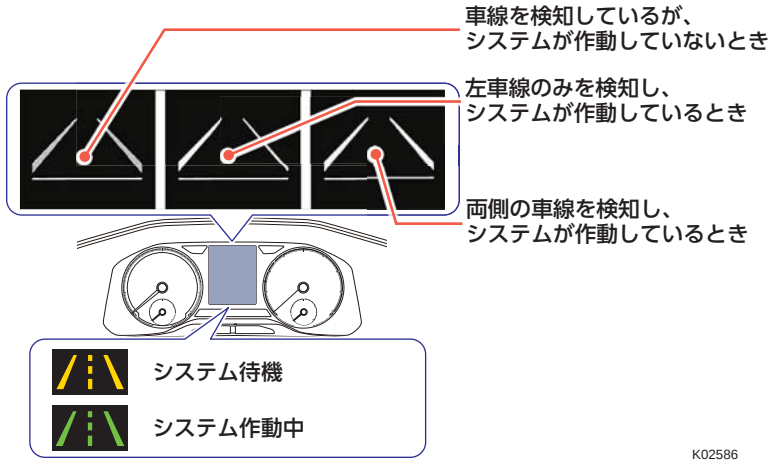
フロントガラス上部に設置されたカメラにより走行中の車線をモニタリングし、運転者が意図しない車線の逸脱を検知すると、自動的にステアリングを補正したり、ステアリングを振動させて注意を促します。



Q0034

コンビネーションメーターのディスプレイにレーンキープアシストシステム“Lane Assist”の作動状態が表示されます。

線の色が薄い　　：車線を検知していないとき
線が細く色が濃い：車線を検知しているが、システムが作動していないとき
線が太く色が濃い：車線を検知し、システムが作動しているとき



K02586

レーンキープアシスト“Lane Assist”の機能停止のしかた

操作手順

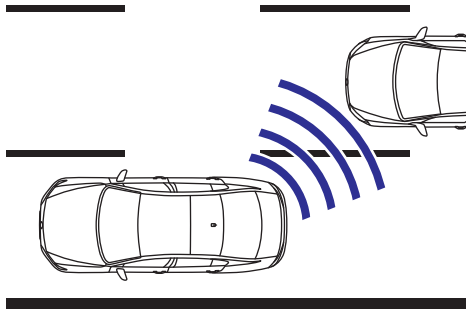
1. **ディスプレイの「MENU」を選択します。**
2. **ディスプレイの「車両」を選択します。**
3. **ディスプレイの「設定」を選択します。**
4. **「ドライバーアシスト」の“Lane Assist”で「作動」のチェックボックス ☑ を外します。**

コンビネーションメーターのディスプレイの表示灯が消灯し、レーンキープアシストシステム“Lane Assist”を OFF にすることができます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）

ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）は、リヤバンパーの左右に取り付けられたレーダーセンサーで、車両後方をモニターします。車両斜め後ろの死角エリアに車両が走行していることを検知すると、ドアミラー内の警告灯が点灯します。車両が検知された車線側に、ドライバーがウインカーを作動させると警告灯が点滅に切り替わり、ドライバーに注意を促します。この機能は、約 15km/h 以上で作動します。



QM3038

ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）の機能停止のしかた

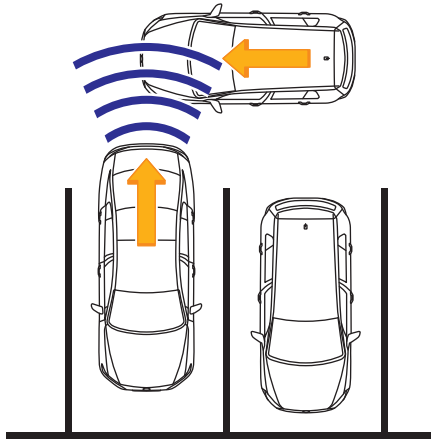
操作手順

1. **インフォテイメントシステムの「MENU」ボタンを押します。**
2. **ディスプレイの「車両」を選択します。**
3. **ディスプレイの「設定」を選択します。**
4. **「ドライバーアシスト」の“ブラインドスポットディテクション”で「作動」のチェックボックス ☑ を外します。**

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）は、リヤバンパーに取り付けられたレーダーセンサーで、後方を横切る車両をモニターし、駐車場から後退で発進する際、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが車両を停止せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にブレーキを作動させます。この機能は、車速 1 ～ 12km/h での後退時に作動します。



QM3039

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）の機能停止のしかた

操作手順

1. インフォテイメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「駐車支援」の“リヤトラフィックアラート”で「作動」のチェックボックス ☑ を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

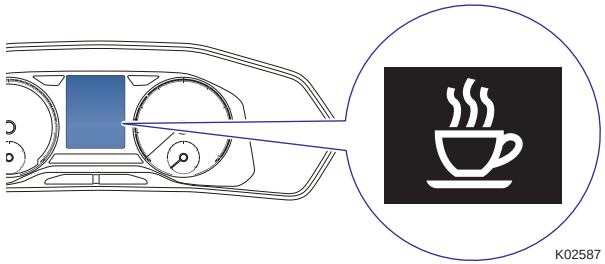
便利な機能

ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”

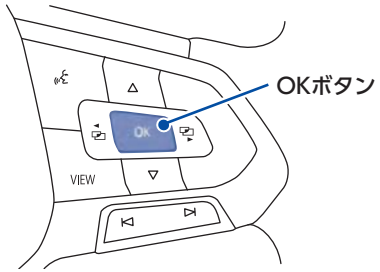
ドライバーの運転パターンをモニタリングし、疲労や眠気による急なステアリング操作など、通常の運転パターンと異なる動きを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイにメッセージを表示すると同時にブザーで休憩を促します。

運転パターンのモニタリングは、約 60 ～ 200km/h で走行中に行われます。

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、ウインドーワイパーレバーの「OK/RESET」ボタンまたはマルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すとOFF にすることができます。



K02587



K02588

ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の機能停止のしかた

操作手順

1. インフォテイメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“疲労検知システム”で「作動」のチェックボックスの☑を外します。

ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”を OFF にすることができます。

便利な機能

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”（歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付）

衝突のおそれがあるとき、ドライバーに注意を促したり自動的に減速したりします。
レーダーセンサーで先行車や歩行者を検知し、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。同時に、制動距離を少しでも短くするため、ブレーキ圧を高めスタンバイ状態を保持します。
警告を促してもドライバーが減速せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的に車両を減速させて衝突の被害を軽減します。

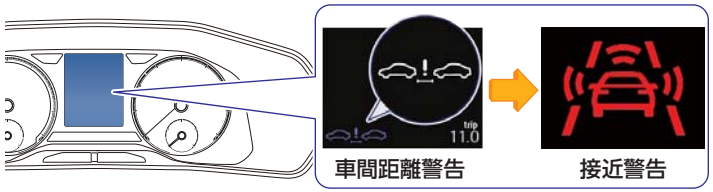
シティエマージェンシーブレーキ機能

車速約 5 ～ 30km/h での走行中にはシティエマージェンシーブレーキ機能が作動し、自動的にブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

歩行者検知システム

車速約 5 ～ 65km/h での走行中には歩行者検知システムが作動し、自動的にフルブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、マルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。



K02589

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”の機能停止のしかた

操作手順

1. インフォテイメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Front Assist（プリクラッシュブレーキシステム）”で「作動」、「事前警告」、「車間警告の表示」をそれぞれ OFF にできます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

ESC（エレクトロニック・スタビリティ・コントロール）

タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。
ESC（エレクトロニック・スタビリティ・コントロール）には、以下の機能が組み込まれています。

- ABS（アンチロックブレーキングシステム）
  ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
- BAS（ブレーキアシストシステム）
  ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
- ASR（トラクションコントロールシステム）※
  発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
- EDS および XDS（エレクトロニックディファレンシャルロックシステム）直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。
  高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。

※：インフォテイメントシステムのディスプレイ上では、「ASR」（ドイツ語表記）と表示されます。

ESC/ASR の機能の切り替え

インフォテイメントシステムによる切り替え

操作手順

1. **インフォテイメントシステムの「MENU」ボタンを押します。**
2. **ディスプレイの「車両」を選択します。**
3. **ディスプレイの「設定」を選択します。**
4. **「ESC システム」で ASR の機能の ON/OFF を切り替えることができます。**

プロアクティブ・オキュパント・プロテクション

事故の可能性を予測し、早い段階で乗員保護機能の作動に備えるシステムです。

急制動や極端なオーバーステア / アンダーステアによって発生しうる事故の可能性を検出すると、即座にシートベルトのテンションを高めます。
同時にウインドーを閉じ、万が一の衝突が起きた際、各エアバッグが最大限の効力を発揮できるように備えるシステムです。

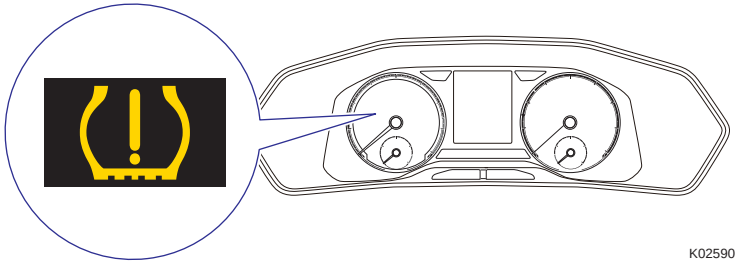
プロアクティブ・オキュパント・プロテクションは、約 30km/h 以上で走行中に作動します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

タイヤモニタリングシステム

パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4 輪のタイヤ空気圧を点検してください。



K02590

タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

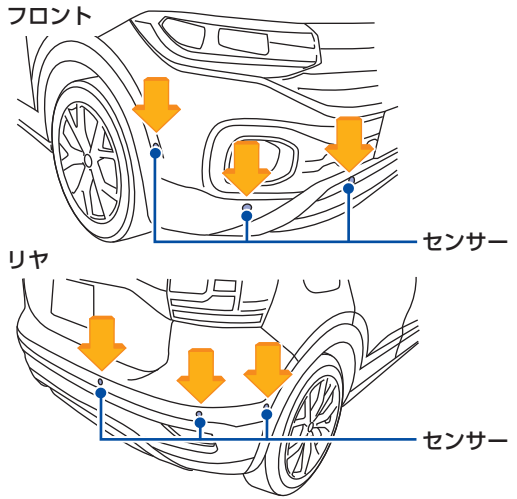
操作手順

1. **インフォテイメントシステムの「MENU」ボタンを押します。**
2. **ディスプレイの「車両」を選択します。**
3. **ディスプレイの「設定」を選択します。**
4. **「タイヤ」の“タイヤ空気圧警告灯”で「SET」を押します。**

現在のタイヤ空気圧を基準値にして、タイヤモニタリングシステムの設定が完了します。

パークディスタンスコントロール

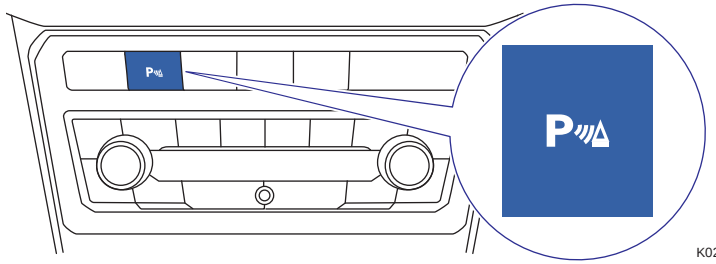
フロントバンパーおよびリヤバンパーに取り付けられたセンサーによって、障害物への接近を知らせることでドライバーを支援するシステムです。
前進時および後退時に障害物に近づいて衝突の恐れがある場合、自動的にブレーキを作動させ衝突の回避または衝突の被害を軽減させます。



K02591

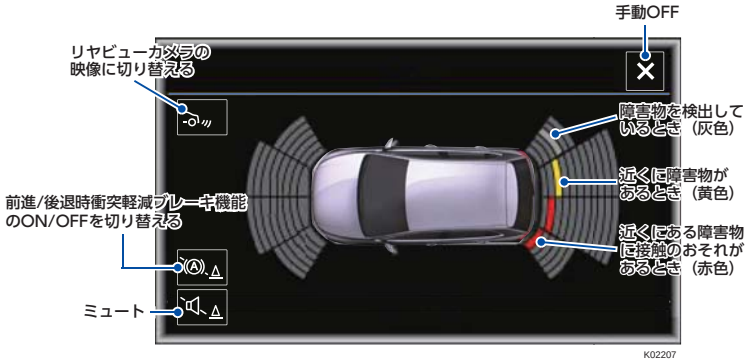
以下のときに作動します。
- セレクターレバーを“R”にしたとき
- 車両が後退したとき
- 車両前方にある障害物に、低速で接近しているとき

また、センターコンソールのボタンを押すと、手動で作動 / 非作動を切り替えることができます。



K02592

障害物に近づくとピッピッピッピッピッという警告音が鳴り、インフォテイメントシステムのディスプレイに黄色い表示がおおよその距離と角度で表示されます。
さらに障害物に近づくと、ピーという警告音が鳴り続け、ディスプレイには赤色で表示されます。



パークディスタンスコントロールの設定のしかた

操作手順

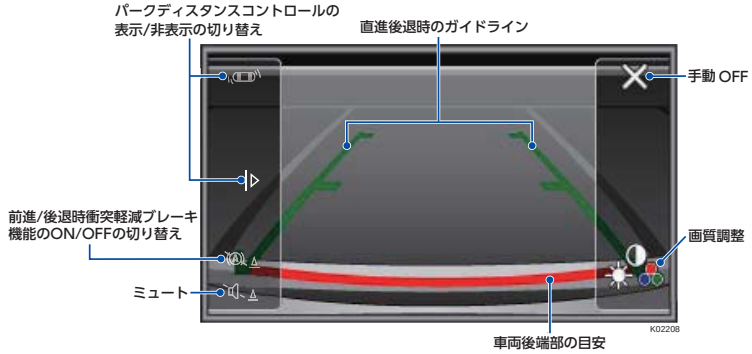
1. インフォテイメントシステムの「MENU」ボタンを押します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「駐車支援」の“パークディスタンスコントロール”で、パークディスタンスコントロールの自動ONの設定や警告音の音量の調整などができます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤビューカメラ“Rear Assist”

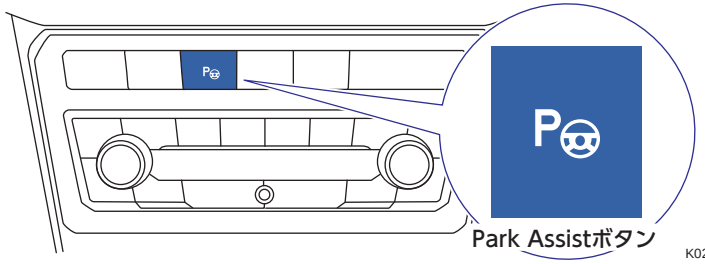
後退時、インフォテイメントシステムのディスプレイに後方の状況を表示して、ドライバーの後方視界を支援します。
カメラはテールゲートのエンブレム内部に格納されています。

セレクターレバーを“R”にすると、自動的にディスプレイに表示されます。
セレクターレバーを“R”以外にすると、表示が消えます。



駐車支援システム“Park Assist”

駐車支援システム“Park Assist”は、縦列駐車、後退または前進して横列駐車をする際のステアリング操作を自動で行い、スムーズな駐車を補助します。
縦列駐車からの発進も、同様にシステムがステアリング操作を自動で行い、スムーズな発進を補助します。
運転者はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されるガイドに従って、前進、後退、ブレーキの操作をする必要があります。



K02593

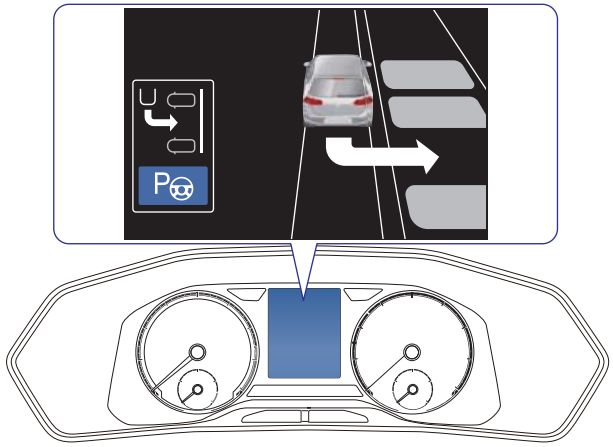
アドバイス

駐車支援システム“Park Assist”は、駐車スペースの駐車している車両を検知して駐車スペースを検知しています。車両が駐車していない駐車スペースでは本機能を使用することはできません。
誤った操作をすると、駐車支援システム“Park Assist”が終了します。終了した場合は操作手順の最初からやり直しする必要があります。

駐車のしかた

操作手順

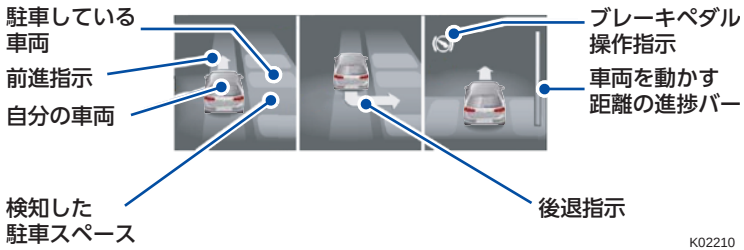
1. 希望する駐車スペースの少し手前で停車します。
2. Park Assist ボタンを押します。
3. 駐車スペースが検知されるまで、ゆっくり前進します。
車両が駐車スペースを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイに下記の図が表示されます。


K02594

4 Park Assist ボタンを押して、希望する駐車方法を選択します。

QM4048

5 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクターレバー、ブレーキペダルを操作します。このときステアリングは自動で操作されます。



K02210

6 駐車が完了すると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了 ステアリングを操作してください！」と表示されます。

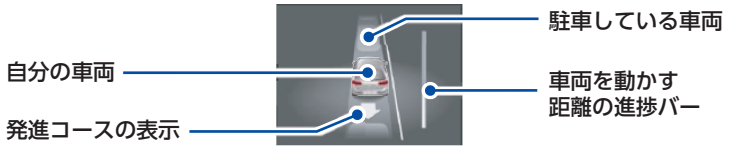
縦列駐車スペースからの発進のしかた

操作手順

1 Park Assist ボタンを押します。

2 発進する道路側に方向指示器を操作します。

3 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクターレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作します。
このときステアリングは自動で操作されます。



K02211

4 縦列駐車スペースから発進できる状態になると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了 ステアリングを操作してください！」と表示されます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

便利な機能

MEMO

目次へ

フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社に帰属します。
本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan

本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

発　　行：2019年12月
印　　刷：2019年12月
発行番号：201.5J2.TCR.70